



1963年

「倉敷鳥瞰絵図」岡本直樹 氏



2005年

倉敷市伝統美観保存条例制定50周年記念まちづくりシンポジウム

参加費無料
(定員150名)

倉敷らしい「町並みとまちづくり」

～「望み・望まれるみらいのまちの姿」トークセッション～

日時 2019年3月30日(土) 13:30～17:00
(受付開始13:00～)

会場 倉敷アイビースクエア
フローラルコート
〒710-0054 岡山県倉敷市本町16-1

倉敷市では今年、倉敷市伝統美観保存条例施行50周年、重要伝統的保存物群選定40周年を迎えます。それを記念して、昨年から実施してきた町並み景観の議論を振り返るとともに、現状を確認し、これからの目指すべき倉敷市中心市街地の町並み景観とまちづくりを考えるシンポジウムを開催します。

会場へのアクセス | ACCESS



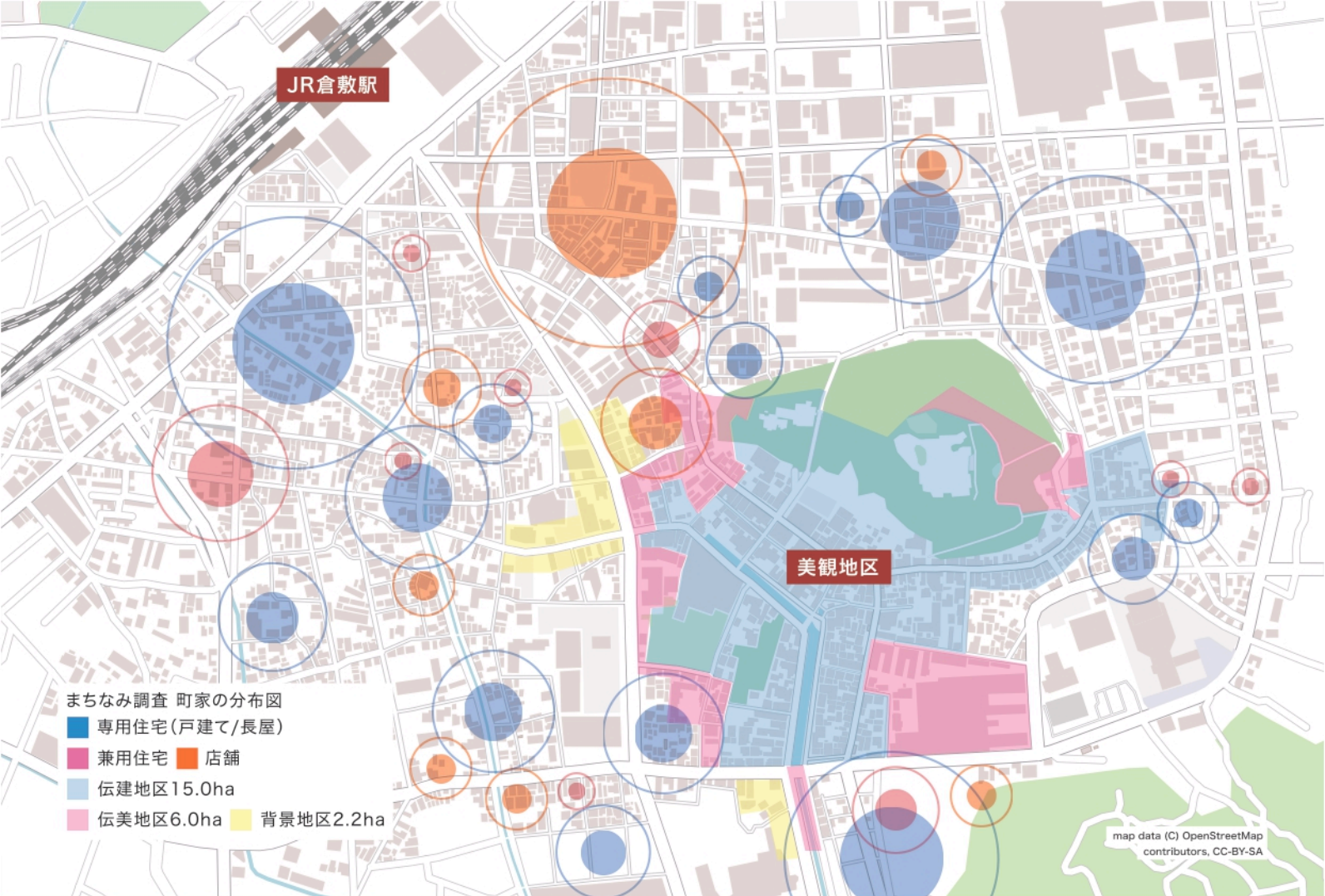
※駐車台数に限りがありますので、公共交通機関を利用してお越しください。

お問合せ | CONTACT 倉敷市まちづくり推進課
TEL : 086-426-3025

プログラム | PROGRAM

- 13:30～ 開会 挨拶・主旨説明
- 13:40～ 基調講演 福川裕一 氏(千葉大学名誉教授)
『歴史を生き、まちの中心を蘇らせる
～まちなか再生:何を・なぜ・どのように
再生するのか?～』
- 14:20～ 1. 倉敷市まちづくり地域おこし協力隊
(倉敷町家トラスト) まちなみ調査報告
2. 倉敷市中心市街地活性化協議会路地空間整備検討
ワーキンググループ 調査報告
3. 倉敷市まちづくり推進課
町家・古民家等既存ストック活用の取り組み報告
- 15:10～ トークセッション
「望み・望まれるみらいのまちの姿」
(1)「町並みとまちづくりのみらいを創造する。」
(2)「みらいの姿をどのように創っていくのか。」
- 16:50～ トークセッションとりまとめ
- 17:00～ 閉会

【主催】倉敷市伝統美観保存条例制定50周年記念まちづくりシンポジウム実行委員会

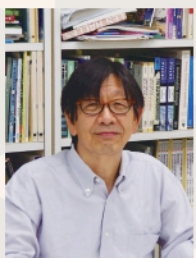


望み・望まれる みらいのまちの姿 トークセッション

倉敷市では今年、倉敷市伝統美観保存条例施行50周年、重要伝統的保存物群選定40周年を迎えます。それを記念して、倉敷の未来のまちの姿を考えるシンポジウムを開催します。

倉敷の特性として、他都市にはない面的にひろがる歴史的町並み景観、本物志向、民芸の思想、モノづくりの美意識、丁寧な暮らし、新しい芸術への寛容な態度、義倉にみられる相互扶助、天領意識に誇りを持つ土地・景観の公有感があると考えられます。

このような意識を確認し、昨年から実施してきた町並み景観の議論を振り返るとともに現状の課題・問題を市民で共有し、これからの目指すべき倉敷市中心市街地の町並み景観とまちづくりの将来像について考えます。



講師 福川 裕一 氏 (千葉大学名誉教授・全国町並み保存連盟理事長。クリエイティブタウン推進機構理事長)

専門は都市計画・都市デザイン、特に歴史的環境の保全、中心市街地再生。川越、佐原、長浜、高松九亀町、小諸、石巻などのまちづくりにかわる。1998年都市住宅学会賞(論説賞)、2000年日本建築学会賞(ホイアン町並み保存プロジェクト)、日本都市計画学会賞・石川賞(ぼくたちのまちづくり・岩波書店の絵本シリーズ)。著書に、『ニッポンのまちのしくみ』(淡交社・監修)、『コミュニティによる地区経営・コンパクトシティを超えて』(鹿島出版会・共著)、『「まちなか」から始まる地方創生(クリエイティブタウンの実践と論理)』(岩波書店)、『持続可能な都市』(共著)、『ぼくたちのまちづくり』(岩波書店・全4巻・ぼくたちのまち世界のまち・商店街を救え・まちに自然をとりもどそう・楽しいまちなみをつくる)、『都市にとって土地とは何か』(筑摩書房)ほか多数。

【発表者】 吉田 宗人 氏(倉敷市地域おこし協力隊) 仁科 真弘 氏(路地空間整備検討WG) 高木 浩 氏(倉敷市まちづくり推進課課長)

「倉敷鳥瞰絵図」
岡本直樹 氏

倉敷を拠点に活動する画家/イラストレーター。1963年(昭和38年)と2005年(平成17年)という倉敷の新旧の町並みを描いた鳥瞰絵図は、圧倒的な細やかさと、生活感あふれる描写で見る者を引き込む。